学校だより

井波子

令和６年６月２１日
南砺市立井波小学校
６月号　　第３５７号
井波小学校 HP アドレス
https://inami-e.nanto.ed.jp/

題字　４年 丸山　頼人さん
（題字は昨年度県書き初め大会出場児童）

誰もが教育的ニーズをもっている

校長　中町　寿子

「教育的ニーズ」、特別支援教育においてよく使われている言葉ですが、どのようなことなのでしょうか。

県教育委員会が発行している広報誌では、次の様に書かれていました。

子供が学校で過ごしている間、誰かの支援や教育的手立てを必要とするとき、その子供は「教育的ニーズがある」と言うことができ、障害のあるなしに関わらず、誰もが教育的ニーズをもっている

子供が直面している困難さに目を向け、必要な支援を考えることは大切です。では、子供たちが抱える困難さとは、どんなことなのでしょうか。一例を紹介します。

《例》

学習面	・個別に言われると聞き取れるが、集団では注意を向けて聞くことが難しい。 ・文中の語句や行を抜かしたり繰り返し読んだりと、読んでいる場所が分からなくなる。
行動面	・気が散りやすい。 ・授業中や座っているべきときに席を離れてしまう。
社会性	・友達と仲良くしたいという気持ちはあるが、友達との関わり方が分からず、関係がうまく築けない。 ・見通しのもてない突然の予定変更や変化を嫌がる。
その他	・ささいなことですぐにかんしゃくをおこす。 ・ちょっと注意されたことをひどく怒られたように被害的に捉える。

これらの困難さをどのように支援していくのかということについて、実は、学校だけでは、支援の方向を決めることができません。まず、子供が抱える困難さを丁寧に見取ることから始めます。その際、①市特別支援教育コーディネーターに子供の様子を見ていただく、②日頃の学校での様子を整理する、③県総合教育センター作成のチェックリストを活用して情報を集めるなどの準備をした上で保護者の方と面談をします。ここで、大事にしたいことは、子供が苦戦していることに対して、忍耐力を付けることや我慢することを解決策にしないことです。子供一人一人の持ち味に寄り添いながらよりよい方法を考えていきたいと考えています。よりよい方法を考えるには、前述の市特別支援教育コーディネーター等の専門家の意見が頼りになります。次号では、実際の取組についてお知らせします。

７～８月の主な予定

＜７月の主な予定＞
３日（水）読み聞かせ
　　校外児童会　集団下校
４日（木）着衣泳　５限後下校
５日（金）５限後下校
８日（月）５限後下校
９日（火）５限後下校
１０日（水）読み聞かせ
１８日（木）アルミ缶回収
１９日（金）劇ワークショップ

２２日（月）保護者個別懇談会
　　（山野・南山見・高瀬地区）
２３日（火）保護者個別懇談会（井波地区）
２４日（水）１学期終業式　給食終了
２５日（木）～８月２７日（火）夏季休業
２６日（金）～２７日（土）６年集団宿泊学習
２８日（日）６学年活動

＜８月の主な予定＞
１３日（火）～１７日（土）閉庁
２８日（水）２学期始業式　給食開始

柔軟性を高めよう！

体育主任　上野　琢麿

毎年１学期に全国の小中学校で「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が行われています。種目は握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、２０ｍシャトルラン、５０ｍ走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの８種目です。井波小学校は昨年度の調査結果から、以下のようなことが分かりました。

【成果】…男女ともに跳躍力（立ち幅跳び）は全国平均、県平均を上回っている。
【課題】…男女ともに柔軟性（長座体前屈）は全国平均、県平均を下回っている。

この結果から健康委員会では、課題である柔軟性を高める取組を行おうと話し合いました。タブレットで様々な学校や自治体の取組を調べ、休み時間にできそうな運動を考えました。調べていく中でYouTubeに柔軟性を高める動画がたくさんあることに気付き、動画と同じ動きを定期的にすることで柔軟性が高まりそうだと考えました。健康委員会は「やわらか王になろう」という企画名で、全校で毎週火曜、木曜の長休みにYouTubeを見ながら同じ動きをすることにしました。

１回目の活動では、「この姿勢きつい！」「続ければ柔らかくなりそう」等、慣れない運動に苦戦しながらも、一生懸命に活動に取り組む姿が見られました。委員会活動以外でも柔軟性の改善に向けて、体育科の学習での準備運動で柔軟性を高める活動を全学年が行い、継続的に柔軟性の改善に取り組みます。

柔軟性が高まることで、①けがの予防②疲労軽減③運動パフォーマンスの向上等のよい点が複数挙げられます。子供たちが生涯にわたって、体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができるように支援したいと思います。

【活動の様子】

元気いっぱい井波っ子

１年　生活科「がっこう　だいすき」

１学年主任　嶋田　光亨

入学してから２か月が経ち、すっかり学校にも慣れてきた様子の１年生。

生活科の時間には、学校を探検してお気に入りの場所を見付けたり、教職員に自分から声をかけて自己紹介や挨拶をしたりして、ますます充実した学校生活を送っています。

〈どきどきのインタビュー後、先生と笑顔で握手を交わす児童の姿〉

５年　集団宿泊学習

5月29日㈬ 30日㈭ 砺波青少年自然の家

５学年主任　江田　沙織

「挑戦・協力・マナー」を目当てに、仲間と知恵を出し合ったり、声を掛け合ったりしながら、元気に活動しました。

〈追跡ハイキング〉

〈館内ビンゴ〉

〈野外炊飯〉

〈キャンプファイヤー〉